

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型通所支援事業所スペース		
○保護者評価実施期間	R 7年 11月 1日		~ R 8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	R 7年 11月 1日		~ R 8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R 8年 2月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童が通所を楽しみにしているとの肯定的な意見が見られ、安心感や満足感につながる支援が提供されていることが示唆された。	日々の支援において、児童が安心して過ごせる関わりや環境づくりを意識するとともに、成功体験や達成感を得られる活動構成を心がけている。また、保護者との丁寧な情報共有を通して信頼関係の維持に努めている。	通所満足度の高さ 今後さらに強化していく方向性 児童が安心して通所を楽しめる環境を維持するとともに、年齢や発達段階に応じた活動内容の工夫を重ね、より主体的に参加できる支援の充実を図っていく。
2	必要に応じて個別室を活用し、クールダウンや面談、言語訓練等を実施しているとの回答があり、児童一人ひとりの状態に応じた柔軟な支援環境が整っていることがうかがえる。	児童の状態に応じて個別室の活用を判断し、クールダウンや個別支援が適切に行えるよう環境を整備している。また、職員間で状況を共有し、個別対応が円滑に行える体制づくりを意識している。	個別性に配慮した支援環境 今後さらに強化していく方向性 個別室の活用を含めた支援の選択肢を整理・共有し、児童の状態に応じた対応が職員間で一貫して行えるよう、支援方法の共通理解を深めていく。
3	標準化されたアセスメントを活用し、専門職の知見を生かした分析に基づいて放課後等デイサービス計画を作成していることが、アンケート結果から確認された。	標準化されたアセスメントの活用を継続するとともに、専門職間での情報共有や検討を行い、多角的な視点から支援計画を作成している。また、定期的な見直しを通して計画の妥当性を確認している。	専門性に基づく支援計画作成 今後さらに強化していく方向性 標準化されたアセスメントの活用と専門職間の連携を継続しつつ、評価・見直しの機会を充実させることで、より質の高い支援計画の策定につなげていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の資質向上に向けた研修機会の不足感	① 研修機会の不足感の要因 研修機会は設けられているものの、業務都合等により十分に参加できない状況があると考えられる。また、年間を通じた体系的な研修計画が明確でないことも、成長機会を実感しにくい要因の一つと推察される。	研修機会の充実に向けた取り組み 年間の研修計画を明確化し、外部研修・内部研修の情報を共有する仕組みを整える。また、オンライン研修の活用や勤務調整の工夫により、参加しやすい環境づくりを進める。
2	支援後の振り返り・フィードバック体制の質・量のばらつき	支援後の打ち合わせは実施しているが、時間確保や進行方法の違いにより、振り返りの内容や深さに差が生じている可能性があることが要因として考えられる。	振り返り・フィードバック体制の充実に向けた取り組み 支援後の振り返り時間を可能な範囲で確保するとともに、簡潔な共有フォーマットを作成し、内容の標準化を図る。あわせて、進行役を明確にすることで質の均一化を目指す。
3	地域交流活動のさらなる拡充の余地	③ 地域交流活動拡充の余地の要因(簡潔版) 地域交流は増加しているものの、企画や調整に時間を要することから継続的な実施に至っていない面があり、組織的な仕組みづくりが十分でないことが要因の一つと考えられる。	地域交流活動の拡充に向けた取り組み 年間計画の中に地域交流を位置づけ、計画的に実施できる体制を整える。また、担当者を明確にし、地域との連携先を整理することで、継続的な取り組みにつなげていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型通所支援事業所スペース

公表日 R 8年 2月 20日

利用児童

数 19

回収数 16

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	0	2	1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15	0	0	1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1	0	2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	2	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	0	0	1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	0	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	0	0	1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6	2	4	4		
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	1	1	5		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	0	0	0		

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	3	4	6	子どもが活動に参加できるように促していたとき、少しずつゲーム等にも参加し楽しさが分かってきたのかなと感じます。18の父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされていますか？の期ですが、同じ園の親御さんとは意見交換等できています。改めて時間を設けて交流会というのも緊張してうまく進められない気もしますので、子どもをお迎えに行った時など少しでもお話できたらいいのかなと思います。	ご意見いただき、ありがとうございます。保護者会の開催などについては慎重なご意見もあるため、事業所内で検討を重ねながら開催のスケジュールなどを作成していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	0	0	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12	0	0	4		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	2		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	0	0	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	0	0	3		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	0	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	0	0	3		
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	16	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	0	0	1	いつもありがとうございます。子どもも毎回通所できるのを楽しみにしています。	ありがとうございます。今後とも楽しんで通所してもらえる様に支援を提供していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	0	0	0	いつも楽しくスペースを利用させていただいています。有り難うございます。	ありがとうございます。今後とも支援内容の拡充を広げていきます。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
多機能型通所支援事業所スペース		R 8年 2月 19日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	適切な関係だと思ふ		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7	0	専門の資格者等も含めて充分に対応出来ている		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	視覚的なサインやある程度構造化された空間で支援を提供出来ている。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	定期的な清掃や備品の消毒などを行なっている。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	個別室を使用してクールダウンを行ったり、面談・言語訓練などを実施している。個室がある		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	その日の活動を出動している職員 全員でミーティングし、次回以降の課題 や各専門職の意見を参考にしながら支援を提供している。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	頂いた意見について、ミーティングで議題に挙げ、PDCAを行なっている。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	職員に対して定期的なアンケートとメンターによる面談、公認心理士による相談窓口などを設けている。フィードバックや話し合いの時間がある		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	事業所内研修スケジュールを作成し、実施している他、施設外研修についても法人で研修費や交通費、宿泊費などを全額負担しながら、積極的に研修を受けやすい仕組みを作っている。	さらに研修の機会がほしいという意見もあるため、研修スケジュールの作成などもより充実するようにしていく。	
適	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	支援プログラムをホームページ上で公開しており、定期的な見直しも行なっている。		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	標準化されたアセスメントなども活用しながら、専門職の強みを活かした分析と計画の作成を行なっている。		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	支援会議を出動している職員が全員参加する体制を整えており、充分に検討を重ねている。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	計画から逸脱しないようにミーティングで確認する他、専門支援計画なども立てており、職員が計画を意識して支援を行う体制作りを行なっている。フィードバックを行っている		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	WISC-V等のフォーマルなアセスメントを行なっている。		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	5領域全ての支援計画を立て、実行している。		

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	支援会議を通し、計画案の修正などをそれぞれの職員が意見を出し合って立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	毎日のミーティングで活動のアイデアを出し合っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	個別、集団活動を本人の発達段階やニーズに応じて適宜提供している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	支援会議を行い、情報共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	フィードバック等を行っているが、児童発達支援の内容と比較すると振り返りやフィードバックのボリュームが乏しい印象がある	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	毎日、児童それぞれの記録を作成し、時系列を追って成長を確認できるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	定期的なモニタリングを行い、計画の見直しを行なっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	7	0	地域交流の機会が昨年度と比較して増えているが、今後はさらに拡充するべきだと思う。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	自己決定する力を育てるため、自分で考え行動する機会の提供を行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児童発達支援管理責任者、担当の保育士、作業療法士、言語聴覚士、公認心理士などが参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	保育者等訪問支援などを通じた連携、計画書や支援経過の共有などを行い、必要に応じて園とミーティングを実施している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	計画書の交換、送迎時間と場所の定期的な確認、連絡調整などを適宜行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	過去の関係機関と連携を図るようにしているが、医療機関との情報共有が多く、全ての児童の過去の幼稚園や保育園と連携が図れているわけではない。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	障害福祉サービス事業所へ移行するケースはほとんどないが、終了や別の地域のコミュニティへの参加、移行先の児童クラブへの情報提供などを行っている。 わからない	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0	児童発達支援センターの主催する研修への定期的な参加などを行なっている。 わからない	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	公園や地域のイベント（マグロ解体ショーなど）への参加によって交流を図っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	わからない	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	家庭での様子も保護者から聴取しながら、発達の課題などについて共有理解を持つようになっている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	家族が言語療育に参加し、家庭でどのように関わることができるかを支援者が実践を交えながらペアレント・トレーニングを行なっている。	今後、さらにペアレント・トレーニングの機会や対象の保護者を増やし、総合的な支援のボリュームや質の向上に着手する。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	保護者の理解度を確認しながら内容説明を行い、同意を得るようにしている。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	コミュニケーションを図ることができる児童については、直接確認しながら、難しい場合は保護者から聴取し、子どもの利益を尊重するようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	説明と同意を行なっている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	事業所内相談などを提供しながら、相談事があればいつでも対応出来るように体制を整えている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	4		父母の会などを計画しながら、保護者同士の交流の機会を設けることには一定の希望と、慎重な保護者からの意見もあるので、検討を重ねていく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	LINEなどで気軽に相談でき、かつすぐに返答できる体制などを整えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	2	LINEや連絡アプリを使用し、発信を行っている。 LINEや連絡アプリは使用している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	十分に留意して取り扱っている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	コミュニケーション拡張ツールなどを必要に応じて提供している。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	来年度以降に計画があり、今年度は準備にとどまった。		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	児童参加型の避難訓練などを実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	BCPの策定と定期的な見直し、訓練を行なっている。 訓練を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	相談事業所からの事前情報だけでなく、保護者にも確認を行なっている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	飲食物の提供は基本的に行わないが、アレルギーの有無は確認している。 わからない 食事の提供はないため保護者の情報提供のみ	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画に沿って研修、訓練などを行なっている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	児童を巻き込んだ避難訓練などを実施し、内容のお知らせなどを行なっている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハットを作成、委員会で事案を検討し、再発防止策を設けるようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	虐待防止の研修を全職員に行い、虐待防止委員会で定期的に事案を見直している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	身体拘束に該当する項目の説明などを十分に説明し、同意を得ている。 身体拘束を行うことがない		